

# 石崎川水系流域治水プロジェクト

## 全体位置図・ロードマップ

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

# 石崎川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、石崎川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

## 位置図



石崎川水系

## ため池の改修



## 森林の整備

実施後



## 河川改修



## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 【洪水氾濫対策】

- ・ 河川改修（護岸整備、橋梁架替等）
- ・ 河道掘削、樹木伐採等
- ・ 農業用河川工作物（可動堰）の撤去

### 【土砂災害対策】

- ・ 砂防ダムの整備等

### 【森林の整備・保全、治山施設の整備】

- ・ 下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工等

### 【流域の雨水貯留機能の向上】

- ・ ため池の改修、土砂浚渫等
- ・ ほ場整備等

## ■ 被害対象を減少させるための対策

### 【リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫】

- ・ 災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定

## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### 【防災学習の推進・防災力の強化】

- ・ 出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間）等
- ・ 防災士養成研修の実施等

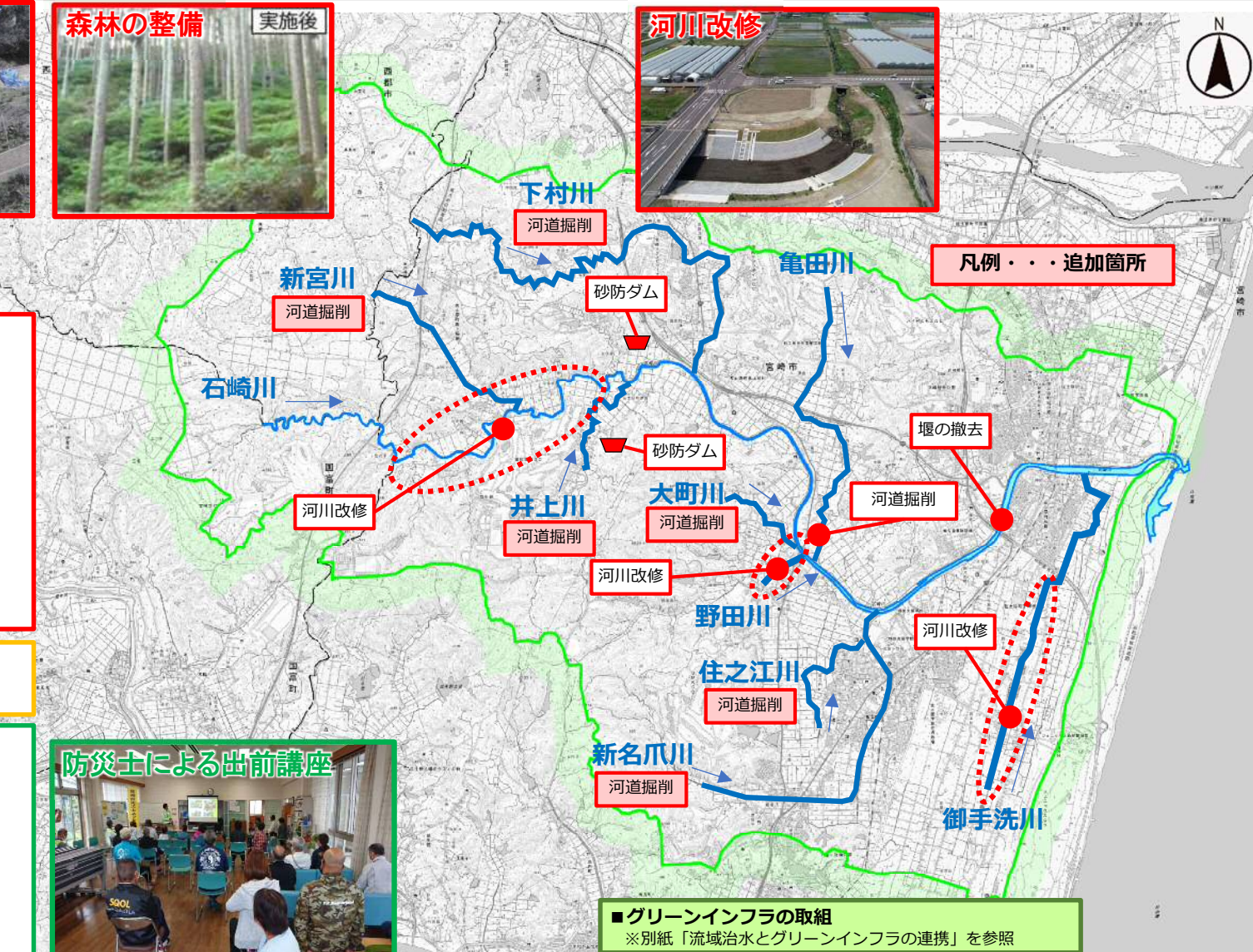
### 【土地のリスク情報の充実・提供】

- ・ 洪水浸水想定区域図の作成・データの提供等
- ・ 洪水ハザードマップの作成等
- ・ ため池ハザードマップの周知等

### 【防災情報、避難体制の検討・連携強化】

- ・ 水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供等

## 防災士による出前講座



## ■ グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf151】

# 石崎川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

## ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

● 石崎川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する

### 【短期】

- 石崎川本川における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所への河道掘削を実施することで、水位低下を図る。支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

### 【短期～中長期】

- 石崎川本川上流部及び支川の御手洗川・野田川においては、河道が狭く、流下能力不足により浸水被害が発生する恐れがあることから、河川改修を継続的に実施することで、早期に地域の安全性の向上を図る。
- 石崎川流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防ダムの整備を実施する。
- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- 今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- 洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

■ 河川対策 (約 10億円)  
■ 砂防対策 (約 4億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県、宮崎市	河川改修(護岸整備・橋梁架替 等)		
		宮崎県	河道掘削・樹木伐採 等		
		宮崎市	農業用河川工作物(可動堰)の撤去		
	土砂災害対策	宮崎県	砂防ダムの整備 等		
		宮崎県、宮崎市	下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等		
		宮崎市	ため池の改修、土砂浚渫 等		
流域の雨水貯留機能の向上	宮崎県	ほ場整備 等			
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫	宮崎市	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進・防災力の強化	宮崎県、宮崎市	出前講座・防災学習の実施(防災の日・防災週間) 等		
		宮崎県	防災士養成研修の実施 等		
	土地のリスク情報の充実・提供	宮崎市	洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等		
		宮崎市	洪水ハザードマップの作成 等		
		宮崎県、宮崎市	ため池ハザードマップの周知 等		
防災情報、避難体制の検討・連携強化	宮崎県	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等			
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県	生物の多様な生態、生育、繁殖環境の保全・創出(瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)		
		宮崎県	河川景観の保全・創出		
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、宮崎市	湿地等の貴重な自然環境の保全		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県、宮崎市	生物の多様な生態、生育、繁殖環境の保全・創出		
自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、宮崎市	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持			
	宮崎県、宮崎市	水辺空間のレジャー等の利用 小中学生や任意団体等による環境学習			

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 清武川水系流域治水プロジェクト

## 全体位置図・ロードマップ

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～



# 清武川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

## ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 清武川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

### 【短期】

- ・流域内の人口が集中している清武川本川（宮崎市～清武町）区間における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所への河道掘削を実施することで、水位低下を図る。支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

### 【短期～中長期】

■ 河川対策 （約 17億円）

- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- ・今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- ・洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削・樹木伐採・排水機場の整備 等		
	高潮、地震・津波対策	宮崎県		堤防の地震対策 等	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	宮崎県、宮崎市、森林整備センター		下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等	
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎市 宮崎県		ため池の改修、土砂浚渫 等 ほ場整備、排水機場の整備 等	
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫	宮崎市		災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進・防災力の強化	宮崎県、宮崎市		出前講座・防災学習の実施(防災の日・防災週間) 等 防災士養成研修の実施 等	
	土地のリスク情報の充実・提供	宮崎県		洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等	
		宮崎市		洪水ハザードマップの作成 等	
	防災情報、避難体制の検討・連携強化	宮崎県		ため池ハザードマップの周知 等 水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等	
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県		生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出(瀬、淵、河畔、ワンド等の保全) 河川景観の保全・創出	
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、宮崎市、森林整備センター		湿地等の貴重な自然環境の保全 生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出	
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県、宮崎市		川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持	
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、宮崎市		水辺空間のレジャー等の利用 小中学生や任意団体等による環境学習	

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 加江田川水系流域治水プロジェクト

## 全体位置図・ロードマップ

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

# 加江田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、加江田川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

## 位置図



### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

#### 【洪水氾濫対策】

- ・ 河道掘削、樹木伐採 等

#### 【高潮、地震・津波対策】

- ・ 堤防の地震対策 等

#### 【土砂災害対策】

- ・ 砂防ダムの整備 等

#### 【森林の整備・保全、治山施設の整備】

- ・ 下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等

#### 【流域の雨水貯留機能の向上】

- ・ ため池の改修、土砂浚渫 等
- ・ ほ場整備、排水機場の整備 等



居住誘導区域から除外

災害の危険性が高い区域

### ■ 被害対象を減少させるための対策

#### 【リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫】

- ・ 災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定



### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

#### 【防災学習の推進・防災力の強化】

- ・ 出前講座・防災学習の実施 (防災の日・防災週間) 等
- ・ 防災士養成研修の実施 等

#### 【土地のリスク情報の充実・提供】

- ・ 洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等
- ・ 洪水ハザードマップの作成 等
- ・ ため池ハザードマップの周知 等

#### 【防災情報、避難体制の検討・連携強化】

- ・ 水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等

### ■ グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



# 加江田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

## ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 加江田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

### 【短期】

- ・ 加江田川本川における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所への河道掘削を実施することで、水位低下を図る。支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

■ 河川対策 (約 18 億円)  
■ 砂防対策 (約 2 億円)

### 【短期～中長期】

- ・ 加江田川流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防ダムの整備を実施する。
- ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- ・ 今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- ・ 洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削・樹木伐採 等		
	高潮、地震・津波対策	宮崎県		堤防の地震対策 等	
	土砂災害対策	宮崎県	砂防ダムの整備 等		
	森林の整備・保全、治山施設の整備	宮崎県、宮崎市	下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等		
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎市	ため池の改修、土砂浚渫 等		
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫	宮崎市		災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進・防災力の強化	宮崎県、宮崎市	出前講座・防災学習の実施(防災の日・防災週間) 等	
土地のリスク情報の充実・提供		宮崎県	防災士養成研修の実施 等		
		宮崎市	洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等		
		宮崎県、宮崎市	洪水ハザードマップの作成 等		
防災情報、避難体制の検討・連携強化		宮崎県	ため池ハザードマップの周知 等		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県	生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出(瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)	河川景観の保全・創出	
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、宮崎市	湿地等の貴重な自然環境の保全	生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出	
		宮崎県、宮崎市	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持	
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、宮崎市	水辺空間のレジャー等の利用		
		宮崎県、宮崎市	小中学生や任意団体等による環境学習		

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 二級水系 流域治水協議会のスケジュール



R3. 2月

第1回 流域治水協議会幹事会

...

- ▶ 協議会の設立
- ▶ 目的・進め方・とりまとめ方の共有など

取組状況・対策内容の検討

~R3.7月

第2・3回 流域治水協議会幹事会

...

- ▶ 各機関の取組状況・対策案の洗い出し
- ▶ 流域治水プロジェクト公表内容の確認

公表案とりまとめ

R3. 8月

第1回 流域治水協議会

...

- ▶ 流域治水プロジェクト内容の確定  
→ プロジェクト策定

R3. 8月

流域治水プロジェクトの公表

...

- ▶ 8.30：県HPにて公表予定

R4. 3月

第4回 流域治水協議会幹事会

...

- ▶ フォローアップ・対策内容の充実化
- ▶ 対象流域の追加
- ▶ グリーンインフラの取組

公表案とりまとめ

R4. 3月

第2回 流域治水協議会

...

- ▶ フォローアップ・対策内容の充実化
- ▶ 新規流域治水プロジェクト内容の策定

R4. 3月

流域治水プロジェクトの公表

...

- ▶ 3.31：県HPにて公表予定

R5.3月  
【年度末】

第3回～ 流域治水協議会

...

- ▶ フォローアップ
- ▶ 対策内容の充実化など